



パナソニック フィナンシャル&アカウンティング
プロパートナーズ株式会社 様

経
理
業
務

領収書や請求書など経理証憑の電子化を実現。 経理業務のワークスタイルを大幅に変革



オフィス内に整然と並び、電子化作業のデスク



各自の作業スペースに使いやすいスキャナーを配置



A3サイズの読み取りができるKV-S7075CNをフル活用

ご導入のきっかけ

過去10年間で9千万枚、積み上げるとエベレストの高さに迫る文書! 膨大な文書を高速処理・データ活用できる システムが必要に

経理証憑のスキャナ保存を開始した2006年まで、パナソニックグループの経理部門では、経理証憑の管理は各事業場(工場や営業所など)で行っていました。それぞれ経理担当者は、管理のためのナンバリングを行い、社内規定保存年限に耐えうるファイリングなど、紙書類にまつ作業に膨大な時間を要していました。

また、監査や調査のための証憑準備や、問合せ対応のために証憑を探すことも担当者の大きな負担になっていました。2005年にe文書法施行に伴い国税関係書類のスキャナ保存が認められるなどIT化への条件が整い始めました。そこで、作業の効率化とローコストでの業務運用を実現するため、一カ所に証憑を集めてドキュメントスキャナーで電子化する取り組みを2006年からスタートさせました。

スキャナー選定のポイント

パナソニック高速カラードキュメントスキャナーの選定

KV-S7075CN×11台 / KV-S4085CWN×1台

- 大量文書の高速読み取りが可能なこと、さらにメンテナンス体制がしっかりしていること
- A3原稿の読み取りができ、ADF(自動原稿送り装置)での高速読み取りが可能なこと
- 解像度などe-文書法に適合したスキャナーであること
- 連番管理をするため証憑読み取り時に文字を印刷するインプリンター機能があること

お客様情報



パナソニック
グループの経
理・財務部門
を支える会社
として「シェ
アードサービ
ス事業」、「経

理・財務プロフェッショナル事業」、「システム開発・運用事業」を展開しています。所属する経理業務本部では、経理シェアードサービス事業としてパナソニックグループの経費精算処理を実施しており、領収書や請求書などの経理証憑を1カ所に集約し、正確・迅速に画像化保存、証憑を保管しています。

また2015年6月に本社事務所の移転を契機に、多様な雇用形態の社員がさまざまな働き方ができるように、オフィスやICT環境を整備しました。無駄な動線をなくした作業工程の分業化により、工数削減・作業時間の短縮および作業品質の向上を図っています。



パナソニック フィナンシャル&アカウンティング
プロパートナーズ株式会社
ファイナンスセンター 経理業務本部 事業推進部 e-文書課
和田 裕人 様

